

平成 27 年度関西医療学園校友会総会・懇親会 報告

平成 27 年 6 月 20 日(土)に難波のスイスホテル南海大阪にて「平成 27 年度関西医療学園校友会総会・懇親会」が盛大に開催されました。今年の総会は例年より多い 341 名もの会員の先生方に御参加頂き大盛況にて終了することができ、役員一同大変感謝しております。

今年の総会は、校友会会長の林先生の挨拶から始まりました。続いて武田理事長と、吉田学長からご祝辞を頂きました。

会員の先生方に会務の報告をし、今年の懇親会パーティーは岩本光司監査のご発声でひらかれました。

今年も余興は、関西医療大学の吹奏楽同好会のダイナミックな演奏で、ステージ前に人が集まり大いに盛り上がりました。演奏の曲がテレビなどで一度は耳にしたことがある曲が多く、自然と会場から演奏に合わせて手拍子が起こり、会場全体が一体となっておりました。そして毎年恒例になっている関西医療大学のダンス部によるダンスが披露されました。非常にダイナミックで華麗なダンスを披露してくれ、吹奏楽から引き継ぎ会場のボルテージは一気に上がりました。

そして恒例のビンゴ大会が行われました。豪華な景品が数多く用意され、ビンゴ大会が進むにつれ会場全体が司会の読み上げる番号に集中していき、ビンゴになった人が喜びを爆発させる姿が数多く見られました。

大学卒業の先生にはなじみが薄いですが、学園歌の斉唱、そして古野忠光監査の万歳三唱で幕を閉じました。

参加した先生方にお話を聞くと、知り合いだけでなくベテランの先生方とも交流できるめったにない機会を楽しんで頂けたようです。

その他の先生方の感想もどれも満足されていたようで、今年も大成功で終わることができたと感じました。



今年卒業した新人の先生から、大ベテランの先生方までが一堂に会する校友会総会はとても有意義な会です。幅広い年齢層の先生方が語り縦横の繋がりを広げていくことで、関西医療学園の歴史と伝統の重みを感じ、学園と交友会が更なる発展をしていくことと強く感じました。

今後も卒業生からなる校友会を更に拡大し、繋がりを培うことで、現代を生き抜くことが重要であると感じました。

